

酸化・抗酸化測定セミナー2016東京

# 実臨床における酸化ストレス

## ～酸化ストレスと関連疾患・検査と治療によるアプローチ～

## 製品紹介

13:30～14:00

「全自動酸化ストレス・抗酸化力測定器  
SPOTCHEM IM SI-3511製品概要」

アークレイマーケティング株式会社 事業推進部

## 講演1

14:00～14:30

「クリニックにおける自由診療導入のポイント  
～予防医療の為のPoint of Care 検査～」

講師 セリスタ株式会社  
代表取締役社長

伊藤 承正 氏

## 講演2

14:45～15:45

「副腎疲労症候群と酸化ストレス」

講師 銀座上符メディカルクリニック  
院長

上符 正志 先生

## 講演3

16:00～17:00

「酸化療法の実際と酸化ストレスへのアプローチ」

講師 東海渡井クリニック  
院長

渡井 健男 先生

※参加費は無料です。

参加申込方法：裏面にご記入のうえ、FAXにてお申し込みください。

お申込先 ▶「酸化・抗酸化測定セミナー2016東京 運営事務局」

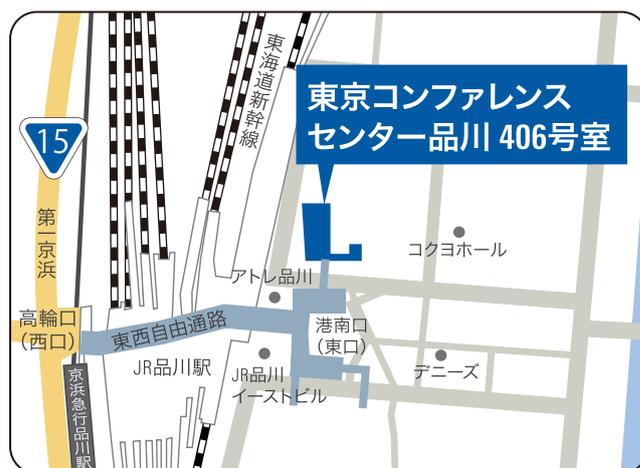
FAX:03-3358-8536

日時 2016年6月25日(土)

13:30～17:00(開場 13:00)

定員 100名

会場 東京コンファレンスセンター品川 406号室  
〒108-0075 東京都港区港南 1-9-36 アレア品川  
TEL: 03-6717-7000(代表)



■JR品川駅港南口(東口)徒歩2分

# 実臨床における酸化ストレス

## ～酸化ストレスと関連疾患・検査と治療によるアプローチ～

セミナー概要

活性酸素・フリーラジカルによって受ける生体のダメージ「酸化ストレス」は、がんをはじめ、糖尿病、動脈硬化等様々な生活習慣病の主要因のひとつである事は今や疑う余地が無く、老化を促進する危険因子の中で重要な位置を占めます。また、生体には、過剰に産生された活性酸素を適時消去する仕組みとして、SOD やカタラーゼ等の内因性抗酸化酵素、ビタミン類等の外因性抗酸化物質による抗酸化力が備わっていますが、これらの働きは生体防御機能として極めて重要です。「SPOTCHEM IM」は i-pack Oxystress Test を使用して少量の血液検体で「酸化ストレス度 (OS)」と「抗酸化力 (AP)」を簡単操作・全自動・短時間・高精度に測定出来ます。本セミナーでは、「SPOTCHEM IM」をご使用中の先生方より、診療での検査の活用法についてご紹介いただくと共に、近年関心の高まっている副腎疲労症候群や酸化療法について、酸化ストレスとの関連性を交えながらご解説をいただきます。

参加申込書

FAX:03-3358-8536

「酸化・抗酸化測定セミナー2016東京 運営事務局」宛て

フリガナ  
ご氏名

ご施設名

〒 -  
ご施設住所都道  
府県市  
郡区  
村町

TEL ( )

FAX ( )

E-mail @

※何かご連絡事項がありましたらご記入ください。

たくさんの方のお申し込み、ご参加をお待ち申し上げております。

※事務局より連絡が無い場合は、申し込みが受理されたものとお考えください。  
※人数の変更、キャンセル等がある場合は、速やかにご連絡ください。

担当者印

## 微量検体で簡単測定



免疫反応測定装置

SPOTCHEM IM SI-3511

## 誰でも簡単に測定

検体を分注した試薬パックを装置にセットして  
スタートを押すだけの簡単測定

## 様々な検査が可能

酸化ストレス度・抗酸化力、アディポネクチン、  
CRPなど試薬パックを変更するだけで様々な  
検査が可能